

NSS XM7

オーステナイト系ステンレス鋼

代表成分：18.2Cr-9.4Ni-1.8Mn-3.2Cu

- NSS XM7 は、SUS304 に比べて加工後に磁性を帯びにくい特長を持っています。
- 加工硬化が小さく柔らかい特性を有しており、加工後に歪み除去焼鈍を施すような用途には、焼鈍が省略できる有利さがあります。

用途例

- 洋食器・器物類
- 冷間鍛造用途
- 非磁性部品

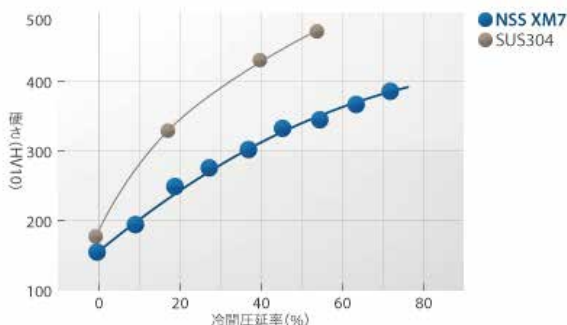
SUS304 より小さい加工硬化性

NSS XM7 は SUS304 に比べて冷間加工硬化性が小さく、磁性が出にくい特長を持っています。
また、時期割れに対する感受性が著しく低いため、加工後の焼鈍が不要です。

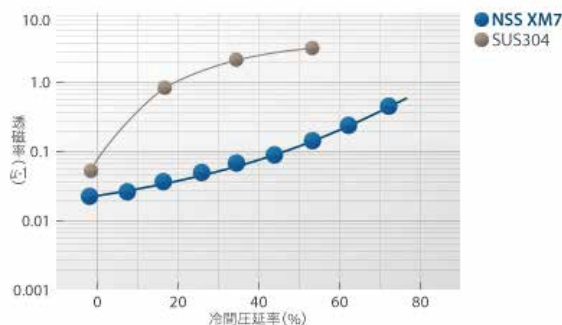
模型成形性（板厚：0.8mm、No.2B 仕上げ）

鋼種	穴抜き比（打抜き孔）	ランクフォード値（ r 値）	エリクセン値（mm）	加工硬化指数（ n 値）	限界絞り比（L.D.R）
NSS XM7	0.40～0.45	1.0	11.6	0.37	2.05
SUS304	0.45～0.50	1.0	13.0	0.44	2.10

硬さにおよぼす冷間圧延率の影響



冷間圧延率と透磁率の関係

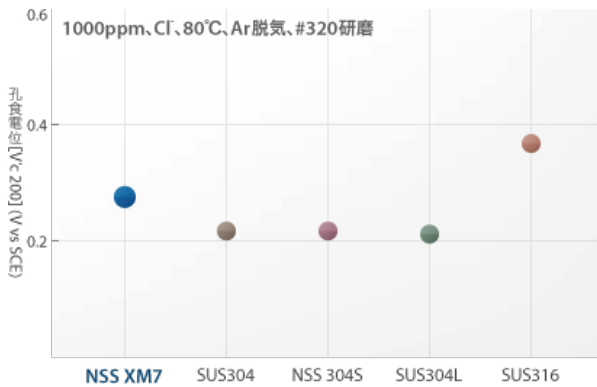


NSS XM7

SUS304 と同等の耐食性

NSS XM7 の孔食電位は、SUS316 に比べてやや劣りますが、SUS304 と同等の耐食性を有しています。

孔食電位



化学成分

(mass%)

	C	Si	Mn	P	S	Ni	Cr	Mo	Cu	N
代表例	0.035	0.55	1.80	0.025	0.004	9.40	18.25	0.12	3.20	0.03

機械的性質

鋼種	耐力 (N/mm ²)	引張強さ (N/mm ²)	伸び (%)	硬さ (HV)
NSS XM7	265	540	49	141
SUS304	310	629	59	168

物理的性質 (代表例)

ヤング率 (N/mm ²)	比熱 (J/kg·°C)	比電気抵抗 (μΩ·m)	密度 (g/m ³)	熱膨張係数×10 ⁻⁶ (°C ⁻¹)		熱伝導度 (W/m·°C)	
	0~100°C				0~100°C	0~500°C	100°C
194,200	0.5×10 ³	0.72	7.93	17.3	18.4	16.7	20.9

NSS XM7

製造可能範囲

下記以外の寸法、仕上げでも条件次第によっては供給可能ですのでご相談ください。

寸法

- 板厚：0.30～4.0mm
- 幅：10～1250mm

表面仕上げ

仕上げ：No.2D、No.2B、BA、No.4、HL